

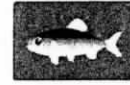
5

A J U岐阜ダルク ニューズレター 平成 18 年 9 月 26 日増刊 (毎週火曜日) 発行
A J U通巻 7540 号 昭和 54 年 8 月 1 日 第 3 種郵便物認可

つ
鶉



つ
鱈



A J U
つうしん

岐阜ダルクニューズレター 秋号

岐阜ダルク代表 遠山 香



半年程前に、相談にきた 30 代後半の男性がいました。誰かに追われているという妄想におびえ、家に帰るのが怖いからダルクに今日から入寮したいとの一点張り。もちろん薬を使っている様子。一人暮らしのアパートもあり、休みがちながらも仕事もあるとのこと。ダルクに入寮するにもアパートの処分や職場のこと(休職するのか、辞めるのか)など片付けてから来るように伝える。仕事を辞めてプログラムに専念したい、生活保護を受けてダルクに入寮するところまで話は進んだ。本人自身で生活福祉課にも行き、そちらの方から連絡をもらい、そこでこちら役所の方との話を進めたいと思いきや音沙汰がなくなった。その男性から 9 月に入って手紙が来た。住所は拘置所になっている。このようなことはダルクでよく起こる。通所し始めたものの 3 ヶ月たないうちに来なくなり、病院や警察から手紙が届く。面会に行くと泣き崩れる仲間・今度こそやり直したいという仲間。

岐阜ダルク設立後、このようなことが頻繁に起こっている。私自身も過去に経験した事だ。病院のベットで後悔で泣く日々、外に出ると又、薬に手を出す日々。でも、今私は薬を使わずに生きている。何度でもやり直しができる事を知った。だから、仲間達が岐阜ダルクに再び登場する時までダルクを続けたい。

岐阜ダルク設立 2 年が経ちました。皆様に支えて頂いたおかげです。感謝を込めて、12 月 3 日にフォーラムを行います。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

リレーメッセージ



8/31に精神保健センターからの学生の実習活動が岐阜ダルクにて行われました。
精神福祉を学ぶ学生さんの実習感想文です。

中部学院大学 4年 中満文恵

精神保健福祉士の研修として岐阜ダルクに午前中のミーティングに参加させて頂きました。

その日のテーマは「出会いと体験」でした。まず岐阜ダルクの方々がお話され、その後に私達がお話をさせて頂くことになりました。薬物依存はこれまで何回も警察の方からお話を聴く機会がありました。しかし、当事者の方々のお話を聴くことにより、私の中で薬物依存は特別なものから誰でも起こりうることで認識が変化しました。なぜならば、当事者の方々が語られるお話の中に自分が以前から感じていた周囲から認められたい気持や自己への消えぬ否定感があったからです。お話を拝聴していくうちに自分が浮彫になり自分で自分を眺めている感覚にだんだん陥りました。

私が話す番になり、動揺しながらも口が開いて話し始めました。拙い話を岐阜ダルクの方に笑って頂け、その笑い声に後押しされるように自分の経験を語り終えることができました。

普段の生活の中で、自分の出会いや経験を改めて話す機会はほとんどありません。まして、自分の経験を分かってもらえるレベルまで話す相手すら片手で数えられるほどいません。今回の岐阜ダルクでは普段の生活で話すより“分かってもらえた”気がして、自分自身への小さな肯定感も生まれました。今回の研修を通してダルクの良さを実感することができました。この経験を生かし、将来もし精神保健福祉士になれた際は当事者の方や医療職の方にも良さを認知されるように全力を尽くしたいと思います。ありがとうございました。

岐阜ダルクのミーティングに参加して

PSW 実習生 勅使河原未央

当初「見学」ということで話を伺っていたこともあり、考えるのは「どんな施設なのだろう」「どんな感じに当事者の方が過ごしているのだろう」といったようなことでした。しかし、ミーティングへの参加ということで、PSW 実習生という立場を忘れ一人の人としてミーティングに参加してしまった。遠山さんと春さんの話を伺っている時、でもそれに自分の生い立ちや経験を重ね「自分だったら…」と考えてしまった。自分が話す順番になった瞬間、私自身が抱えている様々な悩みの種(?)がグルグルとまわり、それだけで心が一杯になってしまった。話し始めても自分の世界に入り込んでしまっていた。普通なら知人の前で弱い部分をみせないようにしている自分が、まだ会ったばかりの人々の前で(逆にそれがよいのかもしれないが)自分の悩みをだすことが考えられなかった。

しかし、それを可能としたのが、遠山さんの話であったり春さんの自分をありのまま話している姿であったのかもしれない。そうはいっても、全てをさらけだしたわけでもないし、まだ隠そうと必死に言葉を選んで、話す内容を選んで自分もいたのが現実だ。このミーティングへの参加はダルクについて考える、当事者について知るというより自分をあらためて知る自分のための参加となってしまった。ただ、自分たちの話に「自分がどうしたいのか」と遠山さんに言われたのが今でも心に残っている。その結論は今後さらに考え続けなければみつからないだろうけど、他者に話すという行為の中に自分の中で整理をつけることや自分の思いを探るという意味も含まれていることが実感できた経験となった。

結局のところダルクに自分が何をしに来たのか、何を学びに来たのか曖昧な感じで「これ！」と言うことはできませんが、机上の勉強では絶対知ることのできないことが多く感じとれたと思います。貴重なお話、体験をありがとうございました。

岐阜ダルクのミーティングに参加して

藤井 万祐子

私は、岐阜ダルクの遠山さんと春さんのお話を聞くことができ良かったです。2人のお話を聞いて、薬物って本当に身近な問題だし、自分にももしかしたら、関わっていたのかもしれないということを考えさせていただくことが出来ました。そして、誰かの問題だから関係ないのよってにげていたら、誰もたすけてあげられない環境になってしまうんだということを気付かせていただけて良かったです。

又、その場で話したことは外部に言っただけという秘密主義になっているから、自分の話を言うことが出来て、誰にも言ったことがなかったことを言ってスッキリすることが出来ました。そのことから、テーマであった出会いと体験は考えさせられるテーマだと思いました。今日の岐阜ダルクに行って2人のお話を聞くというのは私にとっていい出会いであり、そこで自分を見つめなおし自分のいい伝えたいことをいうという事はいい体験でした。

実習でしか行くことのない場所に行き、貴重なお話を聞くことが出来て良かったです。又、薬物やっている人イコール悪い人ととらえるのは、その人たちのことを知らなすぎる証拠だとも思ったので、もし、話をする機会があったら、もう一度お話をし、間違っていて覚えている知識を正しい方に変えて行きたいと思いました。

薬物を使用し、やめた方のお話、そして、今、頑張っている人のお話を身近で聞く時間を与えていただけてありがとうございました。

ダルクのミーティングに参加して

中部学院大学 遠藤よし乃

私は今まで、平凡な毎日を送っていました。特に変化もなく、刺激もないと思っていました。そして、このような日々は好きでした。しかし、今回のミーティングで、「出会いと体験」というテーマで話し合った帰り道、私は、私なりに、多くの出会いがあったし、辛いことも経験し

てきていると思いました。ダルクのミーティングに参加したのも、出会い、経験です。私は、あまりに無頓着でした。人との出会い、経験があり、私がいるのです。日々変化し、毎日、いろいろなことがある。こういうことに気づかれました。

今回のミーティングで、薬物依存者はどのような経験をしてきたのか知ろうと思って参加しましたが、結局、自分を知ってしまいました。しかしこれも経験です。今回、本当に考えました。自分がこれからどうしたいか。いい機会を本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

精神保健福祉士実習生 山田知恵美

今回ダルクのミーティングに参加させていただいて、ダルクの役割、雰囲気を知ることができました。今まで大学の講義では、薬物についてなら、薬物の種類や使用したときの症状・作用など重要な事が多く、ダルクやNAについても名前程度で、どんな所なのか、なんのための場所なのか、詳しく学習する機会がありませんでした。

参加して思ったことは、同じ苦しみを共有できる仲間の存在は力強いものだという事と、こういう言い方は良くないのかもしれませんが、薬物依存者も普通の人だということです。

まず、同じ苦しみを共有できる仲間というのは、何より強いキズナだと思います。誰だって1人で何かをするより、2人、3人と多くの人が集まって行動することの方が安心するし、力強いと思います。しかも、それが同じ気持ちや立場の人だったらなおさらで、弱音をはいても、グチを言っても受け止めてもらえるし、何も分からない人に比べて横並びのポジションで話を聞いてもらえると思う。例え、上から物を言われたとしても経験者だから、体験者だから言えることで、同情でも偽善でもない正直な思いだと思います。コミュニケーションを取る方法として、他人と仲良くなるためには、まず自分の事を話すことという話を聞いたことがあります。このダルクという場所は、自分をさらけ出すことで、もしくは、誰かのさらけ話を聞くことで心のつながり、安定をはかっている場所だと思います。病院では薬や診察で症状をやわらげるが、薬物を絶つという気持ちを持たせる効果はないと思います。もっとダルクが広まり、どん底にいる人が1人でも多く救われればいいと思います。もう一つ、薬物依存について思うことは、薬物依存は身近なものだということです。今日、話を聞いて自分にあてはまる事がいくつかありました。自分はいなくても同じ存在なんじゃないかとか、他の人に認めてもらうこと、期待に応えること、周りからもっと注目をあびる、もしくは中心的存在になりたいとかたくさん思うところがありました。それでも、私が薬物に手が出ていないのは、手に入らないから、手に入れる勇気がないからで、勧める人がいたならきっと依存していたと思います。それは、私だけではなく一般の人と同じことで、変わりに酒や買い物といった身近なものに依存しています。何かに頼って嫌なことから逃れたいと思う気持は同じだと思います。薬物にしてもお酒にしても今まで頼っていたものを絶つということは難しく、制限をかけようとする気持が大きいほど気になってしまうものだと思います。せつかつ断とうと思うことができ、助け合える仲間に出会うことができたので、ぜひ薬物依存を克服し、今後薬物で困っている人達の支えになってほしいと思います。

今日は私達実習生のために自分の体験や過去を話して下さい、どうもありがとうございました。

仲間の話・はなし



最近の自分

8月11~13日にNA 中部エリアのギャザリングが三重で行われ参加しました。今回は各エリアから大勢の仲間が来ていたのでたくさんの仲間とフェロシップがとれました。そんな事が当たり前の様で、出来ない自分が過去にいました。今回はそういった面でも充実したとてもすばらしい行事でした。

ダルクにつながって顔見知りの仲間とひさしぶりに会って、なんか成長を感じたり、元気な姿を見ると幸せな気持ちになりました。そんな自分はきっと幸せな人です。初めて僕につながった、三重ダルクの仲間たちのギター演奏に心がふるえる感動をしました。きっとそれも、僕が美しい感性を今は持っているからだと思います。自然や仲間の美しさやすばらしさを少しずつ感じられるようになっていきます。自分は自分のなりたい回復へ回復へと今は進んでいるんだって事に気づきました。

実は最近は何もむ事やいける事が多いです。怒られたり冷たくされたり、そんな感じで…むごい時もあるよ。だがしかし！！顔ひきつりながらもガッツで青春！！なんてよく分からないけど今日一日ベストを尽くしています。

春

岐阜ダルクに通い始めて

私は名古屋ダルクのメンバーですが、週に1回のペースで岐阜ダルクに通っています。最初はやはり、名古屋ダルクとの違い探しばかりしていました。緊張し、猫を被り、小さな事でぐしゃぐしゃ悩み、疲れるだけのプログラムでした。ただ、そこが自分の弱い所で今あまり変わっていないのですが…

でも、前より走れる様になりました。話せる様になりました。何より、仲間と笑える様になりました。走り疲れた後で、川に飛び込む時間が大好きになりました。不安を乗り越えた先に、小さな成長が待っている。今はそう信じていることが出来ます。

岐阜ダルクを支えて下さっている皆様、いつもありがとうございます。成長の速度はとも遅いですが、どうか見守ってやって下さい。



えりか



実りの季節へ

いつも、ダルクへのご理解とご支援ありがとうございます。
今年も5月から長良川を泳ぎました。水は冷たかったけど、一人じゃないからできました。

今年も豊川を泳ぎました。なかまに上流の方まで連れて行ってもらい、山の緑ときれいな水と鳥のさえずりを心で感じました。三河を廻り出して、3つ目の季節が過ぎました。いつの間にか、電車から見える景色も変わりました。稲穂が色づき始めています。種まきから実りへ、毎年続いている自然の恵みです。たくさんの人に会いました。礼拝も体験しました。自分の無力さに情けなくなりました。うんざりもしました。止まっている脳みそで歩いています。苦しんでいるなかまがたくさんいます。困っている家族の方々がいます。自分がもらった事をどれだけできるかわかりません。自分の為にハイパーパワーと一緒に…。

資金が少し足りません。物件がなかなか見つかりません。助けてください。

献金先

郵便振替口座 00850-8-167795

プロジェクト三河ダルク

ご協力をお願いします

プロジェクト三河ダルク 笠嶋さとし

(090)12398075

中日新聞社会事業団様 ありがとうございます。

薬物依存症自立支援活動助成金 ¥100,000.-

介護相談共催金 ¥50,000.-

コープ岐阜様 ありがとうございます。

生活協同組合コープぎふ福祉活動助成基金にて、パソコン関連機器購入のための助成金を申請しましたところ、一部助成金交付決定いたしました。

パソコンとデジタルカメラ購入に使わせていただき、ホームページ作成の充実に困りたいと思います。 ¥200,000.-



中部エリアのタレントショー 私が主役！
バラバラ☆ バラバラ☆



秋田ダルクの仲間と
はいポーズ！

7月～9月 活動報告

- | | | | |
|------------------------------|---------------------------------|---------------|------------------------------|
| 7/11 | 社会を明るくする運動
長良・長良西・長良東校区3集会講演 | 7/1 8/5 9/2 | 慈恵中央病院 NA メッセージ |
| 7/29 | 東濃地区薬物乱用防止意見交換会 | 8/26 | 仙台ダルクフォーラム |
| 8/1～8/3 | 名古屋ダルク合同フェローシップ
(勝浦温泉) | 8/27～8/28 | JCCA 会議 |
| 8/11～8/13 | NA 中部エリアギャザリング参加
(三重) | 8/31 | 精神保健センターより、学生実習 |
| 8/17 | 名古屋拘置所面会 | 9/7 | 保護観察所 |
| 8/21 | 岐阜地区薬物乱用防止意見交換会 | 9/15～9/18 | NA コンベンション
(東京オリンピックセンター) |
| 8/22 | 名古屋ダルク家族相談室来訪 | 9/28 | 土岐西陵中学校講演 |
| 8/25 | 中日新聞社会事業団助成金贈呈式 | 9/30 | ピア岐阜家族会
「おもしろクラシック」コンサート |
| 7/1 8/4 9/2 | ボランティア実行委員会 | | |
| 7/3 7/18 7/31 8/14 9/11 9/25 | 各務原病院薬物ミーティング参加 | 7/12 9/13 | 薬物相談日 |
| 7/14 7/20 8/7 9/8 9/22 | 笠松刑務所メッセージ | | |
| 7/16 8/19 9/24 | ピアサポートフォーラム実行委員会 | 8/19 9/9 9/30 | 女性サポートグループ |

献金者名

★ 7月1日～9月30日受付分 (敬称略・順不同)

たくさんの皆様より献金・献品に心より感謝申し上げます。
引き続き、皆様の心温まる、ご支援を心からお願い申し上げます。

近藤愛子 仲澤ますみ 徳波万有里 岡田千歳 丹羽令子 永窪正二 森祐之弁護士
伊藤幸雄 大須賀すみ 福安一幸 佐名貞子 橋本直樹 菊池剛聡 マミオサム
土田弘子 池田ひろみ 神谷慎一 河合良彦弁護士 西村由美子 後藤幸恵
岡本浩明 澤田広美 平井孝子 青塚 杉原さち子 岡本浩明 桃澤秀仁 足立政子
青井初恵 塩谷倫恵 朝日大学法学部・大野正博
ピア岐阜 各務原教会・宗像亮二 NPO 法人ライブプランサポートセンター
オクワ愛徳修道女会 宮崎千恵婦人クリニック・宮崎千恵 (有)ラ・ビニョン/松本慎治
岐阜合同法律事務所 浪花薬局・岩島康夫 働ナカヤ薬局・石井尚志薬剤師
匿名希望 3名

献品者名

アイ しい 塩谷倫恵 渡辺浩子

お振込みの際に、匿名を希望される方は、恐れ入りますが、その旨を振込用紙にご記入下さい。なお恐縮ながら、発送作業簡略化のために、すべての皆様に振替用紙を同封させていただきますこと御了承下さい。お名前に漏れがありましたらお申し出下さい。

献金のお願い

岐阜ダルクは皆様の善意の寄付によって支えられています。
活動資金の残金が少なくなってきました。
皆様のお気持ちでどうか私たちの回復を手助けして下さい。
ご協力をお願いいたします。

郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会
銀行振替口座 十六銀行 問屋町支店 普通 1261434 岐阜ダルク 代表 遠山 香

編集後記

虫の音色が秋の訪れをつけており、朝晩、涼しくなってきました。これからの時期は、フォーラムの準備や、秋のバザーに向けて岐阜ダルクの仲間たちは忙しくなります。福祉を学ぶ学生さん達が、ダルクに実習に来てくれたことを嬉しく思います。きっと、彼女達が花の種となって、まだダルクを知らない人達にメッセージを運んでくれるでしょう。

「この世の中に、意地悪な人や悪い人はいません。そこにいるのは、ただ傷つき苦しんでいる人なのです。」ダルクの仲間や私たちは傷つくことを恐れ、自分を守るために様々な仮面を身につけてきました。過去を非難したところで、意味はないのです。過去の過ちを非難するのではなく、必要な経験だったと思いやりと少しばかりの関心を持っていただけたらと思います。私自身もいつも仲間に助けられ、少しずつですが成長をしています。ダルクを支えてくださっている沢山の皆様や仲間たちと、12月3日に岐阜ダルクフォーラムでお会いできることを心から楽しみにしています。



☆☆☆ (黒猫じじ)

編集つうしん 秋号 (No.5)

★編集 岐阜ダルク

〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922

郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

銀行振替口座 十六銀行 問屋町支店 普通 1261434 岐阜ダルク 代表 遠山 香

★定価 一部・100円 ★編集責任者 遠山 香

★発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会

名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター